

平成30年度 2学年夏期講習会アンケート結果(5科目)

【平成30年度一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業】進路学習指導部

[事業内容]

大学受験に対応できる学力の定着を目指し予備校教師による授業講座を長期休業中に実施

[担当講師]

英語 千頭和純一先生

数学 松田哲士先生

現代文 高木一哉先生

古文 五十嵐康夫先生

化学 松田哲士先生

	3 (良く分かった)	2 (分かった)	1 (あまり分からなかった)
英語	11人 (25%)	31人 (70%)	2人(5%)
・文型や品詞についてよく理解できた。 ・カタマリをつくりながら英文を読解していかなければと思った。 ・間違えたものをきちんとわかるまで復習していかなければならない。 ・やはり中学校の基礎的な文法事項をきちんと理解していかなければならない。 ・基礎力がないと次につながらないことがわかった。 ・語彙力がないため、普段の単語や文法テストも頑張らなければならなかったと思った。			
数学	14人 (52%)	13人 (48%)	0人(0%)
・公式だけをあてにしないことが大切だとわかった。 ・わからない部分の解き方がわかった。 ・どこを間違えたかしっかり理解して、すべてではなくとも途中をしっかりとやるのが大切だとわかった。 ・予習の大切さがわかった。 ・問題を解く上で、簡単にできる方法がわかった。 ・1年生の時によくわかっていなかったことを理解することができた。 ・問題のキーワードを見つけることでどの方法で解くかわかることを学んだ。 ・復習だけでなく、普段からの授業の予習・復習がとても大事だと学んだ。			
現代文	12人 (48%)	13人 (52%)	0人(0%)
・量より質が大切だと思った。 ・語彙の知識が重要だとわかった。 ・文の構成を考えながら読解すべきだとわかった。 ・読解の仕方を学んだ。 ・知らない言葉に対する対処方法がわかった。 ・勉強の姿勢を少しずつ変えていかなければならなかったと思った。			

・言葉の言い換えをもっと慎重に解読したい。 ・問題をもっと自分で解いていかなければと思った。			
古文	10人 (40%)	15人 (60%)	0人 (0%)
・古典文法がよく理解できた。 ・助動詞の識別方法がわかった。 ・助動詞でわからなかったところがわかるようになった。 ・全体的に古文がわかるようになった。			
化学	22人 (85%)	4人 (15%)	0人 (0%)
・勉強のすすめ方や心構えがわかった。 ・電気分解の計算方法がよくわかった。 ・授業で理解できていなかったところを完璧に理解することができた。 ・反応式の書き方がよくわかっていなかったが、この授業を機に理解できた。 ・説明がとても丁寧でわかりやすかった。また次回も受講したい。			